

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月8日

【四半期会計期間】 第35期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社アコーディア・ゴルフ

【英訳名】 Accordia Golf Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鎌田 隆介

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号 渋谷クロスタワー

【電話番号】 03-6688-1500(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 鈴木 隆文

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南青山三丁目3番3号 リビエラ南青山ビル

【電話番号】 03-6688-1506(部門代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 鈴木 隆文

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第34期 第1四半期 連結累計期間		第35期 第1四半期 連結累計期間		第34期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
営業収益 (千円)		24,511,391		25,650,347		90,920,260
経常利益 (千円)		3,962,718		4,600,714		11,140,883
四半期(当期)純利益 (千円)		2,659,855		2,673,603		6,025,297
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		2,659,855		2,673,603		6,025,297
純資産額 (千円)		89,731,692		90,125,114		93,097,134
総資産額 (千円)		258,080,814		265,602,815		265,043,969
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)		2,592.50		2,604.64		5,871.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)		2,591.24				5,869.88
自己資本比率 (%)		34.8		33.9		35.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)		2,520,971		908,101		14,283,832
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)		4,364,244		939,611		11,753,019
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)		2,326,040		1,538,817		1,308,036
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)		5,083,527		7,330,844		5,823,537

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
3. 第35期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当企業グループの事業は、ゴルフ事業及びこれに付帯する業務の単一事業であり、また、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため、セグメント情報による記載は行っていません。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による「アベノミクス」と呼ばれる金融緩和や景気対策などに対する期待感から、円安や株高が生じ、製造業を中心に経営環境の改善や資産効果に伴う個人消費の改善など、景気に対して明るい兆しを示しております。

当企業グループが属するゴルフ業界は、景気回復に対する期待感の高まりなどに加え、穏やかな天候が続いたため、プレー需要は安定して推移いたしました。

このような状況の下、当企業グループは、以下の経営施策に取り組みました。

(ゴルフ場運営事業)

お客様にリーズナブルな価格で価値のある商品・サービスを気軽に楽しんでもいただける仕組みの構築を進めると共に、当社独自のポイントプログラムや直営・提携練習場との連携強化などお客様の囲い込み施策を実施したことなどにより、当第1四半期連結累計期間におけるゴルフ場入場者数（当企業グループの保有コースおよび運営受託契約を締結しているゴルフ場の入場者数）は220万人（前年同期間比8万人増加）となりました。

(ゴルフ場の取得とゴルフ場ポートフォリオの最適化)

優良なゴルフ場を大都市圏に集約し収益基盤を強化するゴルフ場ポートフォリオ戦略に基づき、良好なゴルフ場取得案件に対して選別の強化を進めております。なお、当第1四半期連結会計期間末現在の保有ゴルフ場数は134コース、ゴルフ場の運営に係る契約を締結しているコース数は3コースとなりました。

(ゴルフ練習場運営事業)

ゴルフ練習場におけるゴルフ場の予約、スクール運営の積極展開やゴルフ練習場主催のゴルフコンペを開催するなど、当社ゴルフ場との相乗効果を強化いたしました。また、4月にアコーディア・ガーデン船橋を、6月にアコーディア・ガーデン名古屋をそれぞれ開業いたしました。なお、当第1四半期連結会計期間末

現在の運営ゴルフ練習場数は24ヶ所となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、保有するゴルフ場及びゴルフ練習場が増加したこと等により、営業収益が、前第1四半期連結累計期間と比較し（以下対前年同期比という）1,138,956千円（4.6%）増加の25,650,347千円となりました。営業利益は、ゴルフ場及びゴルフ練習場の増加に伴う営業費用の増加等により、対前年同期比651,535千円（15.2%）増加の4,946,014千円となりました。経常利益は、対前年同期比637,995千円（16.1%）増加の4,600,714千円となりました。四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間に発生があった負ののれん発生益203,672千円が当第1四半期連結累計期間にはなかったものの、税金等調整前四半期純利益の増加等により、対前年同期比13,748千円（0.5%）増加の2,673,603千円となりました。

(2)財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して558,846千円増加し265,602,815千円となりました。増加の主な内容は、流動資産のその他に含まれる繰延税金資産677,970千円の減少及び償却によるのれん635,155千円の減少があったものの、ゴルフ練習場2ヶ所の完成により有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定から本勘定への振替及び設備投資が発生したこと等により有形固定資産合計で125,370千円増加したこと、現金及び預金が1,507,307千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して3,530,866千円増加し175,477,701千円となりました。増加の主な内容は、未払法人税等が1,387,775千円減少したこと及び流動負債のその他に含まれる営業収益計上に伴う前受収益が1,628,185千円減少したものの、新規借入による1年内返済予定の長期借入金と長期借入金の合計で6,587,550千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,972,019千円減少し90,125,114千円となりました。減少の主な内容は、当第1四半期連結累計期間の四半期純利益2,673,603千円と利益剰余金からの配当5,645,623千円を差し引き利益剰余金が2,972,019千円減少したことによるものであります。

(3)キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第1四半期連結会計期間末と比較して2,247,316千円増加し7,330,844千円となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況につきましては以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前第1四半期連結累計期間と比較して1,612,869千円減少し908,101千円となりました。減少の主な内容は、税金等調整前四半期純利益が423,743千円の増加、売上債権の増減額が220,715千円の増加、前第1四半期累計期間に発生があった負ののれん発生益203,672千円が当第1四半期連結累計期間にはなかったものの、法人税等の支払額が2,903,057千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、前第1四半期連結累計期間と比較して3,424,633千円減少し939,611千円となりました。減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出が230,810千円増加したものの、前第1四半期連結累計期間に発生があった連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,559,435千円が当第1四半期連結累計期間にはなかったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により得た資金は、前第1四半期連結累計期間と比較して787,222千円減少し1,538,817千円となりました。減少の主な内容は、新規借入による長期借入れによる収入が9,832,000千円あったものの、返済により短期借入金の純増減額が3,870,000千円減少したこと、また長期借入金の返済による支出が2,952,000千円増加したこと、一株当たり4,300円の増配を行ったことにより配当金の支払額が3,728,748千円増加したこと等によるものであります。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,990,000
計	3,990,000

(注)平成25年5月20日開催の取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として、当社普通株式を1株につき100株の割合で分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株式制度の採用及び発行可能株式総数を399,000,000株とする定款変更を決議しております。

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,053,987	1,053,987	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式制度を採用しておりません。
計	1,053,987	1,053,987		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		1,053,987		10,940,982		14,140,470

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 27,510		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,026,477	1,026,477	
単元未満株式			
発行済株式総数	1,053,987		
総株主の議決権		1,026,477	

(注) 証券保管振替機構名義の株式はありません。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) (株)アコーディア・ゴルフ	東京都渋谷区渋谷二丁目 15番1号 渋谷クロスタワー	27,510		27,510	2.6
計		27,510		27,510	2.6

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,872,737	7,380,044
営業未収入金	4,860,259	4,247,340
商品	2,362,794	2,461,946
原材料及び貯蔵品	365,227	409,962
その他	8,006,357	7,798,455
貸倒引当金	793,971	792,624
流動資産合計	20,673,404	21,505,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,215,860	42,515,013
ゴルフコース	110,211,866	110,226,497
土地	53,408,264	53,247,836
その他(純額)	8,889,636	7,861,650
有形固定資産合計	213,725,627	213,850,997
無形固定資産		
のれん	22,903,072	22,267,916
その他	4,570,556	4,612,057
無形固定資産合計	27,473,628	26,879,973
投資その他の資産		
長期貸付金	27,320	27,320
その他	3,457,459	3,644,795
貸倒引当金	313,470	305,395
投資その他の資産合計	3,171,308	3,366,720
固定資産合計	244,370,564	244,097,691
資産合計	265,043,969	265,602,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,128,638	2,491,623
短期借入金	7,470,000	7,600,000
コマーシャル・ペーパー	1,999,358	1,999,269
1年内返済予定の長期借入金	9,224,250	6,823,907
1年内償還予定の社債	10,000,000	10,000,000
未払法人税等	2,802,368	1,414,592
引当金	1,928,355	2,163,509
その他	14,771,551	12,317,472
流動負債合計	50,324,522	44,810,374
固定負債		
社債	15,000,000	15,000,000
長期借入金	58,667,950	67,655,842
入会保証金	26,356,813	26,182,265
その他	21,597,548	21,829,218
固定負債合計	121,622,312	130,667,326
負債合計	171,946,834	175,477,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,940,982	10,940,982
資本剰余金	20,622,481	20,622,481
利益剰余金	63,533,647	60,561,627
自己株式	1,999,977	1,999,977
株主資本合計	93,097,134	90,125,114
純資産合計	93,097,134	90,125,114
負債純資産合計	265,043,969	265,602,815

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	24,511,391	25,650,347
営業費用		
事業費	18,938,117	19,748,575
販売費及び一般管理費	1,278,794	955,757
営業費用合計	20,216,912	20,704,333
営業利益	4,294,478	4,946,014
営業外収益		
受取利息	1,684	191
持分法による投資利益	5,008	10,270
受取賃貸料	45,161	18,592
利用税等報奨金	13,212	6,742
その他	30,317	58,221
営業外収益合計	95,383	94,019
営業外費用		
支払利息	350,432	359,256
その他	76,710	80,063
営業外費用合計	427,143	439,320
経常利益	3,962,718	4,600,714
特別利益		
固定資産売却益	25,396	95,825
保険差益	4,527	24,772
負ののれん発生益	203,672	-
関係会社株式売却益	88,272	25,381
債務免除益	19,585	14,474
その他	10,735	4,983
特別利益合計	352,189	165,438
特別損失		
固定資産除売却損	4,434	8,914
災害による損失	16,475	40,660
その他	1,164	-
特別損失合計	22,074	49,574
税金等調整前四半期純利益	4,292,834	4,716,577
法人税、住民税及び事業税	1,153,959	1,261,664
法人税等調整額	479,019	781,309
法人税等合計	1,632,979	2,042,974
少数株主損益調整前四半期純利益	2,659,855	2,673,603
四半期純利益	2,659,855	2,673,603

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,659,855	2,673,603
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	2,659,855	2,673,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,659,855	2,673,603
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,292,834	4,716,577
減価償却費	1,314,024	1,338,982
のれん償却額	633,867	635,155
貸倒引当金の増減額(は減少)	15,185	1,346
賞与引当金の増減額(は減少)	446,623	476,642
ポイント引当金の増減額(は減少)	11,211	27,898
株主優待引当金の増減額(は減少)	107,428	213,589
受取利息	1,684	191
支払利息	350,432	359,256
固定資産除売却損益(は益)	20,961	86,911
関係会社株式売却損益(は益)	88,272	25,381
負ののれん発生益	203,672	-
売上債権の増減額(は増加)	392,203	612,919
仕入債務の増減額(は減少)	602,390	363,003
未払金の増減額(は減少)	74,371	263,497
前受収益の増減額(は減少)	1,644,679	1,628,185
その他	1,357,651	424,813
小計	4,529,681	5,830,722
利息の受取額	1,684	189
利息の支払額	324,355	333,714
法人税等の支払額	1,686,038	4,589,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,520,971	908,101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	777,541	1,008,351
有形固定資産の売却による収入	28,766	130,738
無形固定資産の取得による支出	29,531	90,028
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	3,559,435	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	148,671	126,488
短期貸付金の増減額(は増加)	181	10
その他	175,355	98,467
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,364,244	939,611

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	4,000,000	130,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額(は減少)	-	3,270
長期借入れによる収入	-	9,832,000
長期借入金の返済による支出	224,450	3,176,450
配当金の支払額	1,025,154	4,753,902
ファイナンス・リース債務の返済による支出	356,007	419,440
長期預り金の返還による支出	68,348	70,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,326,040	1,538,817
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	482,767	1,507,307
現金及び現金同等物の期首残高	4,600,760	5,823,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,083,527	7,330,844

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
--

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、平成25年6月に子会社である㈱MDAコーポレーションの全株式を売却したことにより、㈱MDAコーポレーション及び同社の子会社である(有)大北ゴルフ練習場を、連結の範囲から除いております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

ゴルフは屋外スポーツであり、当企業グループの営業収益及び営業費用は、気候が穏やかな春・秋に該当する第1四半期および第3四半期に高く、気候の厳しい夏・冬に該当する第2四半期および第4四半期に低くなる傾向があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	5,133,527千円	7,380,044千円
預入期間3ヶ月超の定期預金	50,000千円	49,200千円
現金及び現金同等物	5,083,527千円	7,330,844千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,231,172	1,200円00銭	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	5,645,623	5,500円00銭	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

当企業グループの事業は、ゴルフ事業及びこれに付帯する業務の単一事業であり、また、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当企業グループの事業は、ゴルフ事業及びこれに付帯する業務の単一事業であり、また、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2,592円50銭	2,604円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,659,855	2,673,603
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,659,855	2,673,603
普通株式の期中平均株式数(株)	1,025,977	1,026,477
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,591円24銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	500	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 7日

株式会社アコーディア・ゴルフ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 板垣雄士 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小口誠司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アコーディア・ゴルフの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アコーディア・ゴルフ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。